

企画展

酒井慶一郎

花は無言で語りまます



主 催：八ヶ岳美術館、原村、原村教育委員会 協 賛：スワテック建設株式会社、諏訪信用金庫、たてしな自由農園

2023
6/17 [土]
↓
9/3 [日]

会期中無休

- 作家在館ライブアート 6月24日(土)・25日(日) / 7月22日(土)・23日(日) / 8月19日(土)・20日(日)
- はらむら塾 対談講演会「神紋カジの葉とカジ和紙の話」8月10日(木) 13:30~
- ワークショップ「カジにかいてみよう!」8月12日(土) 12:30~ ※要予約

八ヶ岳美術館 原村歴史民俗資料館

入館料：一般(高校生以上)510円(460円)、小中学生250円(200円) ※()内は20名以上の団体料金
諏訪6市町村の小中学生は図書館利用カード、学生証などの提示により無料で入館できます
開館時間：9:00~17:00(最終入館は16:30まで) 休館日：年末年始、臨時休館を除き年中無休

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611
TEL/FAX 0266-74-2701
E-mail: info@yatsubi.com
<https://yatsubi.com>



花は無言で語ります

KEIJIRO
SAKAI
6.17-9.3

会期中無休

諏訪市在住の画家 酒井慶二氏は、日本各地の和紙にアクリルで絵を描き 16 年目になります。酒井は農業のかたわら自然の恵みのなかで絵筆を走らせ、日にした色をひたすら分解し、音や匂いを分析して和紙の画面に描きとめていきます。山の緑が輝き、動物たちの煌めく毛並みや眼差し、成長してゆく野菜の枝葉や実りの踊るような躍動感を緻密に捉えた表現は、時間や言葉を超えた来描と色彩によるコミュニケーションとなっています。

本展では、会期中に八ヶ岳美術館の周囲に広がる自然のなかで制作する絵画、神前にふさわしいものとして諏訪で古くから親しまれるカジ和紙に描いた新作をあわせて展示します。山麓に色彩豊かに花開く、新たな絵画世界をお楽しみください。



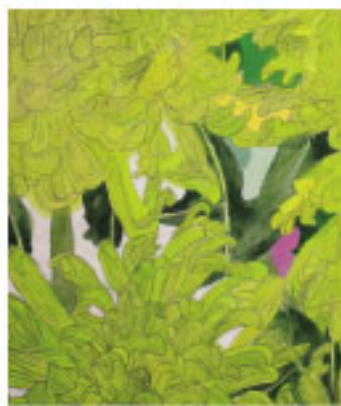
《下仁田ネギ》2017

対談講演会

はらむら塾 「神紋カジの葉とカジ和紙の話」

カジ和紙に描いた作品に囲まれながら、紙問屋を祖先に持つ父明彦氏と繰り広げる諏訪大社の神紋カジの葉とカジの木のルーツについてのおはなし

登壇者：酒井明彦（酒井慶二氏の父）、小泉悦夫（カジの木の会事務局長・八ヶ岳美術館館長）
8月10日（木）13：30～企画展示室にて 入館料要



《植物の》(部分) 2023 カジ和紙



「カジにかいてみよう！」

カジの葉やカジ和紙などに
墨で自由にかいてみます

8月12日（土）12：30～
材料費：100円 入館料別途 要予約

ワーク
ショップ

酒井慶二 1989年生まれ 諏訪出身

画歴 (2014年以前を省略)

[HeartArtCommunication 美術展]

2014 金沢 21 世紀美術館 (石川県) 理事長賞

2015 国立新美術館 (東京都) 持田龍章賞

2016 国立新美術館 (東京都) 豊優秀賞

[流形展] 東京都美術館 (東京都)

2014 入賞 2015 奨励賞 (流形展特別会員)

[諏訪湖をゆく展] 諏訪ガラスの星美術館 (長野県)

2014 奨励賞 2015 大賞賞

2015 万葉文化館 (奈良県) まほろば万葉への追憶展 優秀賞

2016 オリент美術館 (リスボン市/ポルトガル) 展示

2016.4~8月 中野区美術館 (新潟県) 個展開催

2016.12月 横浜赤レンガ倉庫クリスマスコンペティション準グランプリ

2017.3月 東京都美術館 (東京都) 精鋭作家展 特別賞

2017.5月 イギリス王立芸術家協会モールド美術館 展示



作家近影

定期開催個展

雨天荘画廊 (神戸市/兵庫県)

マザーツリー (茅野市/長野県)

小津ギャラリー (日本橋/東京都)

文藝春秋ギャラリー (千代田区/東京都)

作家在館ライブアート

小津美術館ライブアート作品《あなたの家生目に》2023

6月24日(土)・25日(日)
7月22日(土)・23日(日)
8月19日(土)・20日(日)

10：00～16：30頃まで
美術館内 or 敷設路にて
※作家不在の時間もあります

酒井慶二氏が2日間かけて美術館で絵を描く滞在制作です。黙々と制作する姿、少しずつ彩られていく紙面、描画の変化を楽しめます。



《地盤谷野橋公園の赤ん坊猿》2016



八ヶ岳美術館 原村歴史民俗資料館

八ヶ岳美術館の建物は、文化勳章受章者・村野富彦の設計によるもので、日本建築学会協会50年賞を受賞しました。当館を多用したドーム型天井はレースカーテンの絨り糸りになっています。落ち着いたやわらかな明かりのなかで作品をゆったりとご覧いただけます。

美術 作品：清水多喜子（彫刻・絵画）、津金信信（書）
考古学資料：国指定阿久遠跡をはじめ、村内の遺跡から出土した縄文土器・石器を展示

